

第四回

「増田誠大賞」作品募集!!

応募作品 増田誠画伯(都留市名誉市民第一号)が、こよなく愛した都留市の美しい自然の風景などを自由に描いてください。

作品は、油絵・水彩画・クレパスとし、具象画のみとします。
ただし未発表作品に限りません。

規格 50号(117センチ×91センチ)以内の平面作品で、小・中学生は画用紙でもかまいません。

出品手数料 無料
応募資格 都留市在住者のみとし、経歴、年齢、国籍を問いません。

搬入 9月29日～10月1日
搬出 10月13日～15日
いずれも午前9時～午後4時まで

中央三丁目9番3号

ふるさと会館1階事務室

審査員 相川泰一/江田博久
小俣次朗/窪田猛雄
都倉昭二/野田芳城
横山 守

賞①一般(大学生を含む)の部
②高校生の部
③中学生の部

〈敬称略・五十音順〉

④小学生の部

※各部門ごとに大賞 1点

①賞 金 5万円

②賞 金 3万円

③図書券 1万円

④図書券 5千円

※入選 約35点

作品展

11月7日～19日

ふるさと会館1階展示ホール

午前9時30分～午後4時30分

休館日

(月曜日・祝祭日の翌日)

大賞作品、入選作品の作品展を開催します。

◎応募票等は、左記に用意してあります。

教育委員会 社会教育課

ふるさと会館 ☎(45)4111

中央公民館(文化会館3階)

☎(43)1451

山梨女性いきいき アドバイザー委嘱

女性問題に関すること等
気軽に相談してください。

都留市のアドバイザー

山田ふじ子

中央2-7-23

☎(43)2814

関口 幸恵

下谷4-1-7

☎(43)1688

桂クラブ80年の伝統(上)

都留市野球連盟硬式部

桂クラブ監督 酒井重昌

大正四年(一九一五)ヨーロッパにおける戦況はますます拡大の途をたどり、日本は、大戦景気の恩恵に浴している。そんな時代であった。七月の暑い日、東京から一人の青年が帰郷した。

奥源禄。谷村の地に野球を持ち帰った男である。早稲田実業在学中より野球を始め、今で言う野球狂となった。早実から早大を出て帰郷したものの野球への情熱は、つるばかりだった。

奥は、谷村から都留中(現都留高)へ通学する中学生が結成していた「尚志会」のメンバーを仲間に野球を楽しんだが、当時野球というアメリカからきたボール遊びをやる者は、狭い谷村小の校庭しかし彼らは、狭い谷村小の校庭



結成当時の桂クラブ(大正4年)

で連日、練習に励んだのであった。大阪朝日新聞社がこの年に第一回全国中学校野球大会を開催。今日の高校野球へとつながる長い歴史の第一歩を刻み、野球は、着実に人々の心をとらえていった。

その頃、県内では甲府中(現甲府一高)が諏訪中(長野)と定期戦を行う程度であった。

そんな中で彼らは、山梨師範学校(現山梨大)野球部と一戦交えることになった。時は、八月二十九日、場所は、山梨師範学校校庭。

遠征に際し、「つきぬ桂川の清流」にちなんでチームを桂倶楽部と名付けた。ここに、日本に現存する社会人チームでは、函館大洋倶楽部に次ぐ全国二番目の伝統を誇る「桂倶楽部」が誕生したのである。

試合は、5対2で快勝し、文字通り初戦を飾ったのである。

奥源禄は、「野球で養われた健全な精神こそ郷土発展につながる最善の道」と言った。現在スポーツによる人づくりが叫ばれているが、奥は、八十年前前から実践していたのである。

大正十一年は、野球の年であった。東京大学リーグに立教が加盟し五大学リーグとなり、秋にはアメリカ大リーグの選抜チームが来日した。県内では、都留中、甲府

都留市野球連盟からのお知らせ

大正4年創部の桂クラブが今年80周年を迎えます。大正、昭和、平成と三時代にわたり継続してきた伝統は、後世に残していくべき文化ではないかと感じています。

創部80周年を迎えるにあたり、記念行事を催しますのでご協力をお願いします。

7月8日、9日
80周年記念日本選手権山梨大会

8月19日、20日
80周年記念式典・函館大洋倶楽部招待試合
(日本最古の社会人チーム)

商業に野球部が創設され、谷村では、九月に桂倶楽部が山梨師範を招待し、谷村町で初めて硬式野球の試合を披露した。

桂倶楽部は、町内少年野球大会を主催、野球少年の育成に力を入れた。やがて野球少年の大半は、桂倶楽部の主力となり、チームを最強とするともに谷村を県内一野球の盛んな町にしたのである。

また現在、六十四回を数える町別野球も桂倶楽部が昭和四年に始めたものであり、この種の大会としては、全国でも最も伝統のある大会といわれている。

桂倶楽部は、大正末期から昭和初期にかけて黄金時代を迎えた。都市対抗野球山梨大会には、常連の出場チームとなり、甲府静大会、山静大会にもしばしば出場した。特に昭和十四、十五、十六年には、三年連続優勝を飾り県下に敵なしの黄金時代を謳歌したのである。